

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	平林 晶
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4132 し尿処理施設運営事業											
所 属	121000 市民環境部・生活環境課											
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	080000 し尿処理施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
須高行政事務組合で運営するし尿処理施設（須高衛生センター）の維持管理費用を負担する。 （運営主体：須高行政事務組合）						前処理・希釈下水道放流施設の効率的な運用を図りつつ、計画的に機器整備をして機能維持を図る。機器設備の保守管理、受入し尿等の性状に対応した下水道放流基準を満たす希釈量の管理をする。 （運営主体：須高行政事務組合）						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理された。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。 し尿処理施設の管理運営について、民間委託となった。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理された。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		68,272	79,761
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		68,272	79,761
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		1.3	1.5
総額		68,272.0	79,761.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	68,272	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	79,761	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	し尿及び浄化槽汚泥処理については市民が安心して生活していくうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> し尿及び浄化槽汚泥処理について、公共下水道放流方式により、適正に処理された。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
須高衛生センターの施設管理については、適切な管理が民間「水ing」委託により行われている。料金改定については、据え置きとされているが、今後改定について構成市町村と引き続き検討していく必要がある。		下水道放流基準に基づく適切な汚泥処理がされた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	